

コスモ石油エコカード基金による活動

お客様からの寄付金をコスモ石油がお預かりし、世界各地で環境貢献活動に役立てています。

コスモ石油エコカード基金

関連情報 ● コスモ石油エコカード基金 活動紹介

web <http://www.cosmo-oil.co.jp/kankyo/eco/index.html>



コスモ石油エコカード基金とは？

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」会員のお客様からお預かりした寄付金と、コスモ石油グループの売上の一部などを基金として、NPOやNGO、研究機関などのパートナーとともに、地域社会や政府の方々と直接話し合い、地球環境貢献活動「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトを推進しています。2002年度より活動を行っているコスモ石油エコカード基金は、2008年4月で7年目を迎えました。昨年発行したコスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」と、2002年からのコスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」、両方の「エコ会員」は約86,600人(2008年3月末現在)になりました。

◆ コスモ石油エコカード基金



“ココロと大地にタネを蒔く”「種まき塾」

北海道富良野にて“未来のこころと大地に、希望と感謝のタネを蒔く”をスローガンに、自然循環する森林づくりと、環境教育に取り組んでいます。山からタネや実生(みしょう：タネから発芽したばかりの植物)を採取し、これを苗畑で育て、地域で植林する方々に提供します。また苗木育成や植林活動を通して、五感で“自然”を感じ、人と自然が楽しく共生できる方法を考える環境教育プログラムを実施しています。2007年度は、前年度に引き続き富良野エコツアーを開催し、応募で参加いただいた「環境特派員」にツアーで体験したことをレポートにまとめていただき、ホームページにて公開しています。



富良野エコツアー

プロジェクトのコンセプト

「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトでは、石油とかわりの深い環境問題「地球温暖化の防止」をテーマに、今後CO₂排出の急増や、温暖化など気候変動による被害が予想される地域(主に途上国)の持続可能な発展に向けた支援と、次世代を担う子どもたちへの環境教育の2つの切り口から取り組んでいます。

コスモ石油エコカード基金2007年度収支報告

